

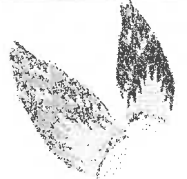
発行  
上田警察署  
大屋交番  
35-0004

# 広報大屋交番

回覧  
作成 羽生田義昭



## 山菜採りの遭難防止

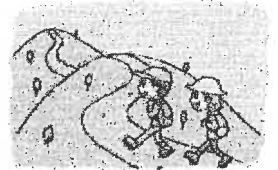


例年、4月から6月にかけて山菜採り目的で入山し、道迷いや滑落でケガをしたり、最悪ですと死亡する遭難事故が多発しています。

入山する際は、「遭難するかもしれない」という危機感を持つとともに、下に記載した事に注意して遭難を防止しましょう。

### 1 入山場所と予定を家族などに伝える。

どこの山へ行っているのかが分からなければ捜索は非常に困難です。

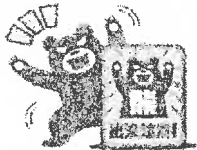


### 2 携帯電話を持って行く。

携帯電話は、万が一の際の重要な通信手段となりますし、位置特定の決め手になることがありますので身から離さず、充電も忘れずに。

### 3 急斜面での滑落に注意。

急斜面は、非常に滑りやすく、表面が脆くなっているばかりか、その先が断崖絶壁という事もあるので避けましょう。



### 4 単独での入山は避け、熊など野生動物に注意。

複数ですと遭難しても直ぐに救助要請が出ます。鈴やラジオを鳴らして野生動物が避けるものを携帯しましょう。

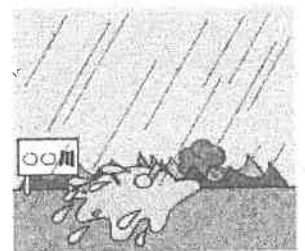
## 梅雨期の災害に備えて



長野県の平年の梅雨期間は、6月初旬から7月下旬で、この間は、長雨や局地的な大雨となるため、土砂崩れや河川の氾濫等の被害が発生しやすくなります。

### ● 次の兆候があったら、早めに避難！

- 雨が降っているのに、川の水位が下がる。
- 川の流れが濁り、流木が混じる。
- 山鳴りがする。
- 崖に亀裂が見られる、水が湧き出る、小石がパラパラ落ちてくる。



### ● 日頃からの準備を

非常持出品と避難場所の確認、側溝の排水状態の確認等を行い、地域の災害特性を理解しておきましょう。